記入例）

水　路　測　量　許　可　申　請　書

令和○年○○月○○日

第○○管区海上保安本部長　殿

住　　　　所：○○県○○市○○町○○番地

氏名又は名称：○○県港湾局長

○○　　太郎

水路業務法第六条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

１　目　的　○○港○○区○○埠頭○号岸壁（－８．５ｍ）の完成に伴う竣工確認

２　区　域　○○港○○区

３　水路測量標の設置の有無　なし

４　事　項

　　　□灯台その他の物標の標高　　□可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ□干出する岩その他の物及び干出堆の高さ　　□水深　　□海岸線　　□低潮線

　　　□浮標の位置　　□底質　　□その他（　　　　　　　　　　　）

５　測定又は調査の方法

　　測位はＤＧＰＳを使用し船位を測定する。水深はマルチビーム音響測深機（△△社製、○○型）を使用する。最低水面は○○による。その他詳細は実施計画書のとおり。

６　期　間

令和○○年○○月○○日　～　令和○○年○○月○○日（うち○○日間の予定）

７　成果の提出

　　　予定期日　　　令和○○年○○月○○日

　　　形　　式　　　○○港深浅図（プラスチックシート、縮尺１／１０，０００）

８　水路測量を計画する機関

　　　名　　　　称　　○○県港湾局

　　　代表者の氏名　　港湾局長　○○　太郎

　　　所　 在 　地　　○○県○○市○○町○○番地

９　水路測量作業を行う機関

　　　名　　　　称　　○○○○測量株式会社

　　　代表者の氏名　　○○　花子

　　　所　 在 　地　　○○市○○町○○番地

　　　水路測量作業従事者

　　　　　氏　名　　　　実　務　略　歴　　　　　　　資　　格

　　　　○○　一郎　　　水路測量３０年　　　水路測量技術検定沿岸一級

　　　　○○　次郎　　　水路測量１０年　　　水路測量技術検定沿岸一級

　　　　○○　三郎　　　水路測量　５年　　　水路測量技術検定沿岸二級

１０　備　考（計画機関の担当者名等）

　　　　担当者：○○県港湾局○○部○○課　　○○　花子

　　　　ＴＥＬ：（○○○）○○○－○○○○

水　路　測　量　許　可　申　請　書

年　　月　　日

　殿

住　　　　所：

氏名又は名称：

水路業務法第６条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

１　目　的

２　区　域

３　水路測量標の設置の有無

４　事　項

　　　□灯台その他の物標の標高　　□可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ□干出する岩その他の物及び干出堆の高さ　　□水深　　□海岸線　　□低潮線

　　　□浮標の位置　　□底質　　□その他（　　　　　　　　　　　）

５　測定又は調査の方法

６　期　間

７　成果の提出

　　　予定期日

　　　形　　式

８　水路測量を計画する機関

　　　名　　　　称

　　　代表者の氏名

　　　所　 在 　地

９　水路測量作業を行う機関

　　　名　　　　称

　　　代表者の氏名

　　　所　 在 　地

　　　水路測量作業従事者

１０　備　考